

釜石市の児童・生徒とその保護者の津波防災意識の実態と 津波防災教育に関するアンケート調査結果 〔第2報〕

平成19年1月

群馬大学 災害社会学研究室

調査概要

【調査目的】

1. 親から子、子から孫へという津波に関する知識の世代間伝承の実態把握
2. 親の防災意識と子供の防災意識の関連の把握
3. 調査を通じて、子供の防災意識を親に評価させることにより、親の防災意識を高める

【調査概要】

各学校に児童・生徒数分の子供・保護者用アンケート票と教員人数分の教員用アンケート票を郵送し、記入済み調査票を各学校で取りまとめてもらい、郵送にて回収した。
調査は平成17年12月下旬に実施した。
それぞれの調査の実施方法は以下の通りである。

【1】子供・保護者用アンケート

1. 子供用アンケートとその保護者用アンケートを1つの問子にした調査票を準備する
2. ホームルームなどの時間中に子供に調査票を記入してもらい
3. その場で回収せずに子供に自宅に持ち帰らせ、保護者に記入してもらう
4. 保護者が記入後、子供を通じて各学級で回収

【2】教員用アンケート

- ・各学校で配布・回収

※本調査は、児童・生徒数を基準に調査票を配布しているため、複数の子どもを持つ保護者については、それぞれの子どもが持参した調査票にそれぞれ記入してもらった。つなわち、保護者の調査結果については同一人物が回答している結果も含まれていることになる。

【配布・回収結果】

浸水地域を 含むか否か	学校名	子供・保護者			教師			
		配布数	回収数	回収率	配布数	回収数	回収率	
浸水学区	釜石小	241	219	90.9	20	17	85.0	
	白山小	110	103	93.6	16	14	87.5	
	平田小	247	205	83.0	19	13	68.4	
	尾崎小	24	22	91.7	10	9	90.0	
	鶴住唐小	340	298	87.6	20	18	90.0	
	箱崎小	27	27	100.0	9	8	88.9	
	白浜小	28	26	92.9	10	8	80.0	
	唐内小	127	116	91.3	14	14	100.0	
	双葉小	309	265	85.8	25	19	76.0	
	小佐野小	408	282	69.1	25	18	72.0	
非浸水学区	甲子小	263	193	73.4	20	19	95.0	
	大校小	20	4	20.0	8	2	25.0	
	栗林小	35	25	71.4	10	9	90.0	
	楢野小	14	14	100.0	7	7	100.0	
	小学校・計	2,193	1,799	82.0	213	175	82.2	
	浸水学区	釜石東中	209	190	90.9	20	18	90.0
		唐内中	72	68	94.4	14	12	85.7
		大平中	229	144	62.9	18	7	38.9
		釜石第一中	134	69	51.5	19	13	68.4
	非浸水学区	釜石第二中	121	108	89.3	17	13	76.5
小佐野中		210	148	70.5	21	19	90.5	
甲子中		137	121	88.3	14	12	85.7	
楢野中		14	14	100.0	9	7	77.8	
中学校・計	1,126	862	76.6	132	101	76.5		
合計	3,319	2,661	80.2	345	276	80.0		

※釜石第一中学校、釜石第二中学校、小佐野小学校は、平成18年4月より合併した（名称は釜石中学校に変更）

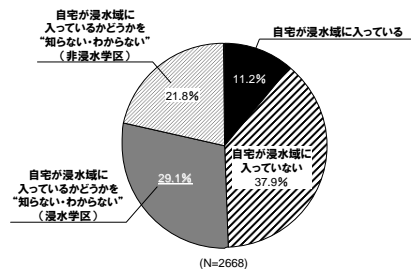
集計方法

【子どもと保護者の調査結果について】

本調査は、釜石市内の全小中学校の児童・生徒と保護者を対象に実施しているため、回答結果は、自宅の所在地によって大きく異なることが容易に予想される。

そこで、以下のように自宅の津波浸水可能性を考慮して集計を行う。まず、保護者の津波に関する知識に関する問である『自宅の浸水可能性に関する知識』をもとに、『自宅が浸水域に入っている』、『自宅が浸水域に入っていない』、『自宅が浸水域に入っているかどうかを知らない・わからない』の3つに分類し、さらに『知らない・わからない』については、自宅が浸水域を含む学区内なのか、浸水域を含まない学区内なのかの2つに分類することで、計4つに分類した。以下にサンプルの構成比を示す。

■『津波浸水予測図』の中で、自宅が浸水域に入っているか？

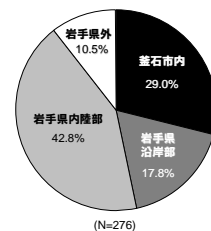


【教師の調査結果について】

教師を対象に実施した調査結果については、現在の居住地による回答結果の違いも考えられたが、ここでは出身地を考慮して集計を行う。ここで現在の居住地ではなく、出身地を考慮した理由としては、津波に関する知識は、小さい頃から家庭内での伝承や学校教育によって醸成される場合を多いものと考えたからである。

具体的には、教師の出身地を、『釜石市内』、『釜石市以外の岩手県沿岸部』、『岩手県内陸部』、『岩手県外』の4つに分類した。以下にサンプルの構成比を示す。

■出身地はどこか？



0. 集計項目とその考案

【1】子供の調査結果

1. 個人属性 ----- 1-01

■ 学年

2. 津波の話を聞いた経験 ----- 1-01

- (1) 釜、釜石市でも大きな津波が発生し、たくさんの方が亡くなったことを知っていたか？
- (2) どうやって知ったか？

3. 津波に対する危機意識 ----- 1-02

■ 釜石市に津波が来ると思うか？

- (1) 津波の大きさ
- (2) 津波の速さ
- (3) 津波が来た場合の自宅の被害想定

4. 津波避難に関する知識 ----- 1-03

- (1) 学校からの下校中に、大きな地震が発生した場合・・・
- (2) 自宅に一人で行くときに、大きな地震が発生した場合・・・
- (3) 津波から避難するのに、1番安全な場所はどこか？

5. 津波に関する知識 ----- 1-04

- (1) 津波が来る前には大きなゆれの地震がある
- (2) 津波が来る前には必ず海の水は引く
- (3) 地震があったら、まずテレビの情報をチェックする
- (4) 地震があったら、まず海の様子を見に行く
- (5) 津波が見えてからでも逃げる事が出来る
- (6) ひざぐらいの高さの津波なら自分は大丈夫！
- (7) 堤防を超えるような津波は来ない！

ひながた

0. 集計項目とその考察

【II】保護者の調査結果

1. 個人属性	2-01
(1) 年齢	
(2) 続柄	
2. 津波に関する話を聞いた経験	2-01
■ 子供の頃、親や地域の人から津波に関する話を聞いたことがあるか？	
(1) 誰から話を聞いたか？	
(2) 話を聞いた具体的な内容	
3. 子どもに津波に関する話をした経験	2-03
■ 今まで津波に関する話を子どもにする機会があったか？	
(1) 話をした具体的な内容	
(2) 子供にしっかりと伝えることができたか？	
(3) 子どもの回答結果を見て、話したことは十分に伝わっていたと思うか？	
4. 津波防災教育の必要性認識	2-05
(1) 子どもに津波に関する知識を伝えようと思うか？	
※その具体的な内容	
(2) 学校での津波防災教育を実施する必要があると思うか？	
※その具体的な内容	
5. 津波に対する危機意識	2-07
■ 釜石市で津波が発生する可能性等について考えたことがあるか？	
(1) 発生可能性	
(2) 津波が来る前の地震のゆれの大きさ	
(3) 津波の大きさ	
(4) 津波が来た場合の被害状況	
(5) 避難をしないか？	
(6) 避難意向	
(7) 無事に避難することができるか？	

5

0. 集計項目とその考察

【II】保護者の調査結果

9. 津波への備え	2-14
① 災害時における対応に関する家族との相談	
② 災害時の連絡方法の確認	
③ 避難場所、避難経路の確認	
④ 損害保険への加入	
⑤ 地震に備えた家具、家財の固定	
⑥ 非常持ち出し品の準備	
⑦ 非常用の食糧や水の準備・備蓄	
10. 津波防災意識の自己評価	2-14
6. 津波避難意向	2-09
■ 大きな地震が発生した場合、どのような行動をとるべきか考えたことがあるか？	
(1) 釜石市で震度4程度の地震が発生した場合	
(2) 釜石市で震度7の大幅揺れ地震が発生した場合	
7. 津波に関する知識・意識	2-10
① 地震のゆれが大きくなければ津波は来ない	
② 海の水が引かなければ津波は来ない	
③ 津波が来る時には津波警報や避難勧告などの情報が必ず発表される	
④ 津波警報や避難勧告などの情報を確認した後でも、津波から逃げることは可能である	
⑤ 実際に海を見て海の異常を確認した後でも、津波から逃げることは可能である	
⑥ 50cm程度の津波だったら、水にさらわれることなく無事に避難することは可能である	
⑦ 釜石市には防波堤が整備されているので、ある程度の津波が来ても安心である	
⑧ これまでも色々な津波に対して関心を持っていて、防災意識は高い方である	
⑨ 子供達に津波の発生に備えて何をすべきかを的確に伝えることができる	
⑩ 発生メカニズムや備えておくべきことなど、津波についてもっといろいろ知りたい	
⑪ 釜石市にどの程度の津波がくると予測されているのかを知っているか？	
⑫ 自宅から最寄りの津波からの緊急避難場所を知っているか？	
8. 子どもの津波知識に対する不安感	2-13
(1) 子どもの津波に関する知識や関心に不安を感じるところはあったか？	
※具体的な不安を感じた点	
(2) 子どもが津波に遭遇した場合、無事に避難することができるか？	

6

0. 集計項目とその考察

【III】教師の調査結果

1. 個人属性	3-01
(1) 年齢	
(2) 性別	
(3) 現在の居住地	
2. 津波に関する話を聞いた経験	3-02
■ 子供の頃、親や地域の人から津波に関する話を聞いたことがあるか？	
(1) 誰から津波に関する話を聞いたのか？	
(2) 話を聞いた具体的な内容	
3. 児童・生徒へ津波防災教育を行った経験	3-03
■ 学校の授業等で、津波に関する話を子供達にしたことがあるか？	
(1) 話をした具体的な内容	
(2) 子供達にしっかりと伝えることができたと思うか？	
4. 津波防災教育の必要性認識	3-04
■ 学校で津波防災教育を実施する必要があると思うか？	
※その具体的な内容	
5. 津波に関する知識・意識	3-05
① 地震のゆれが大きくなければ津波は来ない	
② 海の水が引かなければ津波は来ない	
③ 津波が来る時には津波警報や避難勧告などの情報が必ず発表される	
④ 津波警報や避難勧告などの情報を確認した後でも、津波から逃げることは可能である	
⑤ 実際に海を見て海の異常を確認した後でも、津波から逃げることは可能である	
⑥ 50cm程度の津波だったら、水にさらわれることなく無事に避難することは可能である	
⑦ 釜石市には防波堤が整備されているので、ある程度の津波が来ても安心である	
⑧ これまでも色々な津波に対して関心を持っていて、防災意識は高い方である	
⑨ 子供達に津波の発生に備えて何をすべきかを的確に伝えることができる	
⑩ 発生メカニズムや備えておくべきことなど、津波についてもっといろいろ知りたい	
⑪ 釜石市にどの程度の津波がくると予測されているのかを知っているか？	

7

【I】子供の調査結果

1. 個人属性

2. 津波の話を聞いた経験

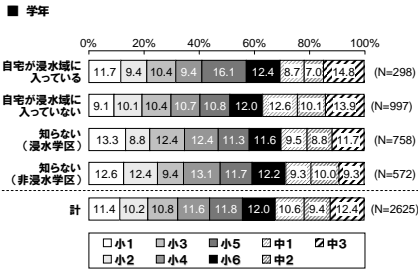
3. 津波に対する危機意識

4. 津波避難に関する知識

5. 津波に関する知識

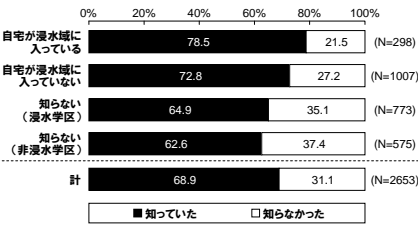
8

1. 個人属性 【1】 子供の調査結果

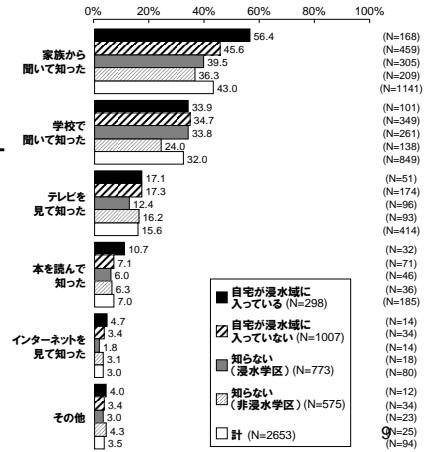


2. 津波の話を聞いた経験

(1) 昔、釜石市でも大きな津波が発生し、たくさんの人が亡くなったことを知っていましたか？

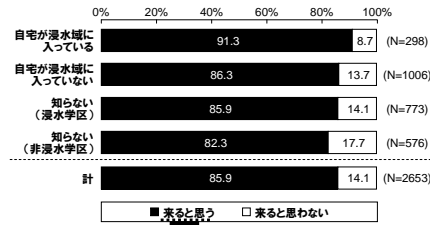


(2) どうやって知ったか？

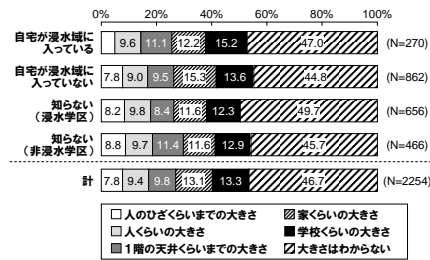


3. 津波に対する危機意識

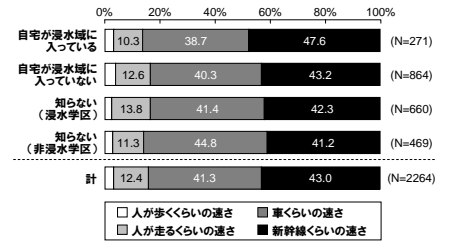
■ 釜石市に津波が来ると思うか？



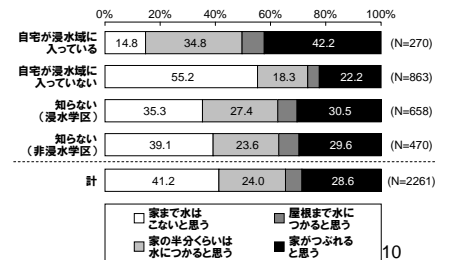
(1) 津波の大きさ



(2) 津波の速さ

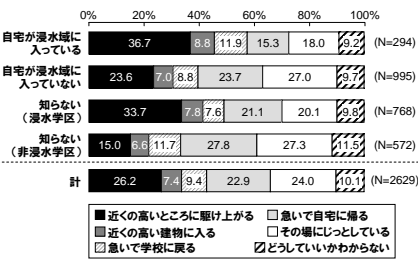


(3) 津波が来た場合の自宅の被害想定

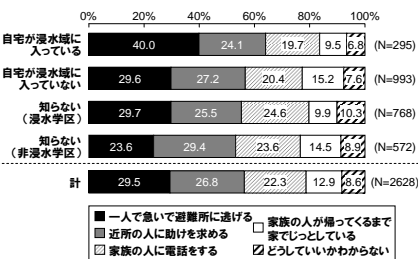


4. 津波避難に関する知識

(1) 学校からの下校中に、大きな地震が発生した場合...

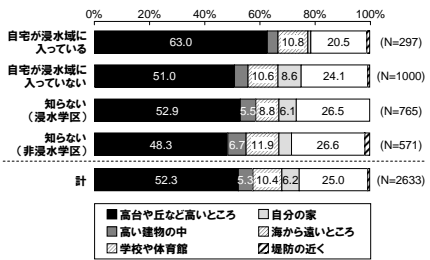


(2) 自宅に一人びいるときに、大きな地震が発生した場合...



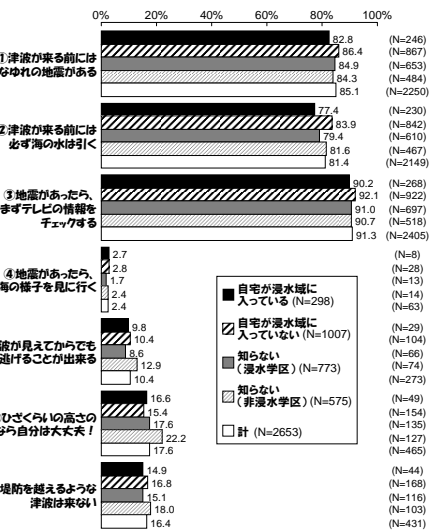
【1】 子供の調査結果

(3) 津波から避難するのに、1番安全な場所はどこか？



5. 津波に関する知識

■ 次の文が正しいと思った子どもの割合



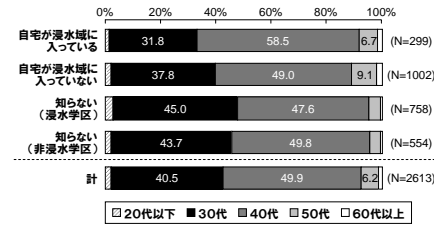
【II】保護者の調査結果

- 1. 個人属性
- 2. 津波に関する話を聞いた経験
- 3. 子どもに津波に関する話をした経験
- 4. 津波防災教育の必要性認識
- 5. 津波に対する危機意識
- 6. 津波避難意向
- 7. 津波に関する知識・意識
- 8. 子どもの津波知識に対する不安感
- 9. 津波への備え
- 10. 津波防災意識の自己評価

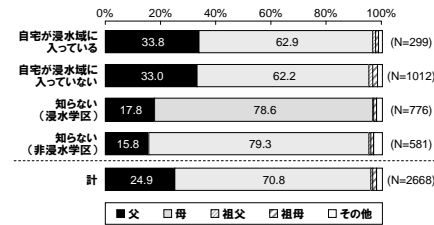
1. 個人属性

【II】保護者の調査結果

(1) 年齢

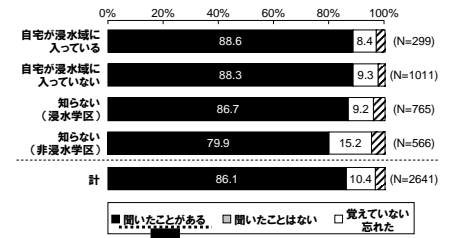


(2) 続柄



2. 津波に関する話を聞いた経験 【II】保護者の調査結果

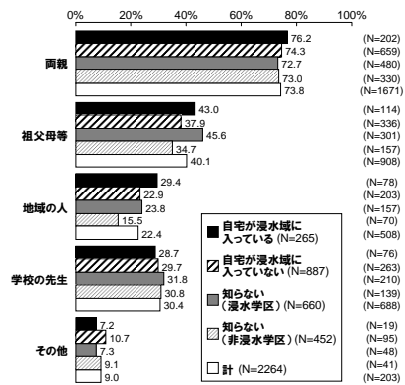
■ 子供の親、親や地域の人から津波に関する話を聞いたことがあるか？



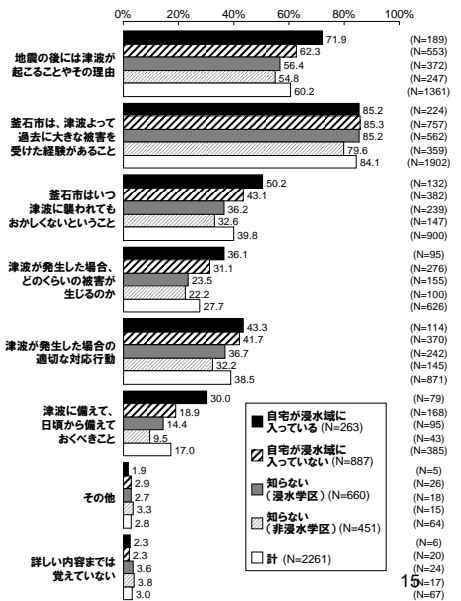
2. 津波に関する話を聞いた経験

【II】保護者の調査結果

(1) 誰から話を聞いたか？



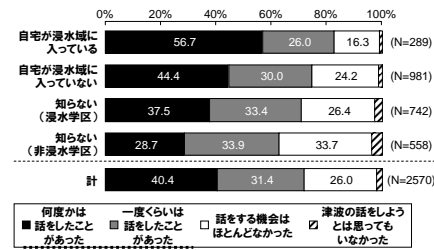
(2) 話を聞いた具体的な内容



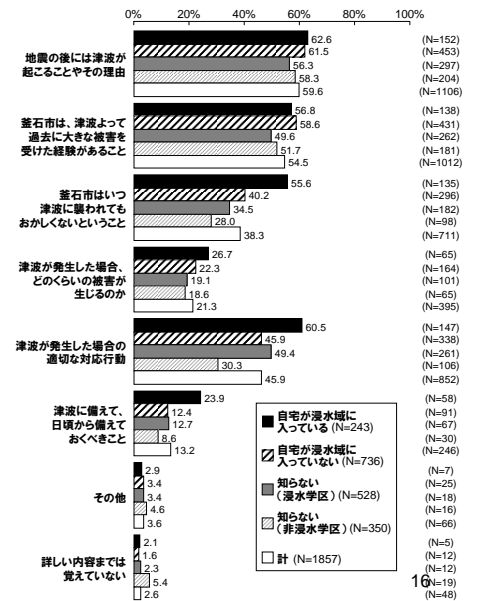
3. 子どもに津波に関する話をした経験

【II】保護者の調査結果

■ 今まで津波に関する話を子どもにする機会があったか？



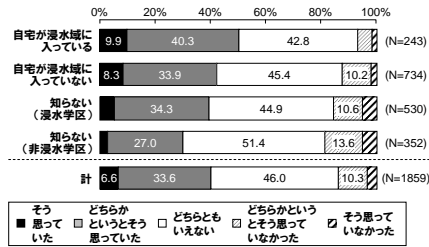
(1) 話をした具体的な内容



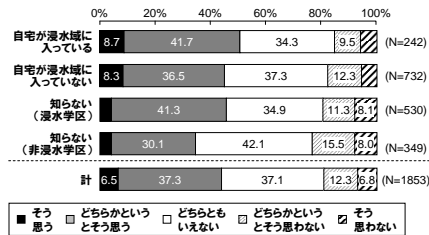
3. 子どもに津波に関する話をした経験

【II】保護者の調査結果

(2) 子供にしっかりと伝えることができたと思っていたか？



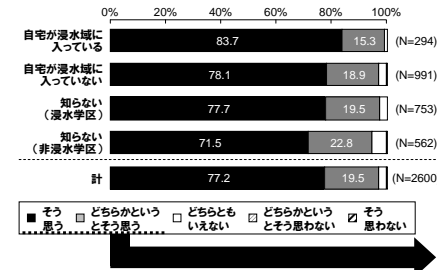
(3) 子どもの回答結果を見て、話したことは十分に伝わっていたと思うか？



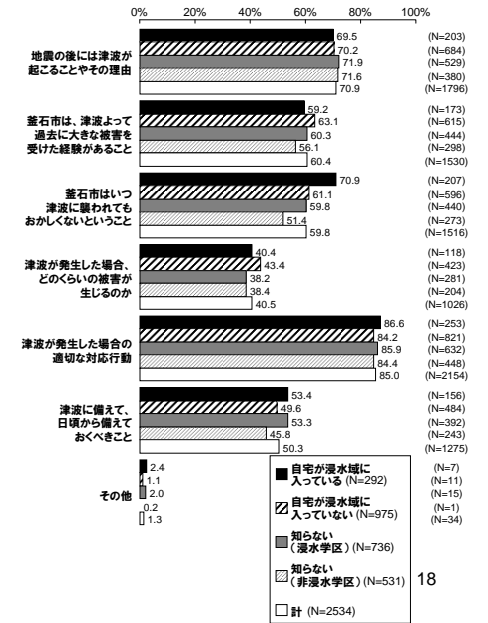
4. 津波防災教育の必要性認識

【II】保護者の調査結果

(1) 子どもに津波に関する知識を伝えようと思うか？



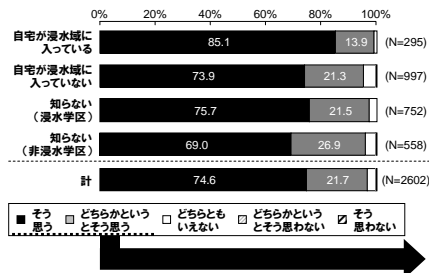
※その具体的な内容



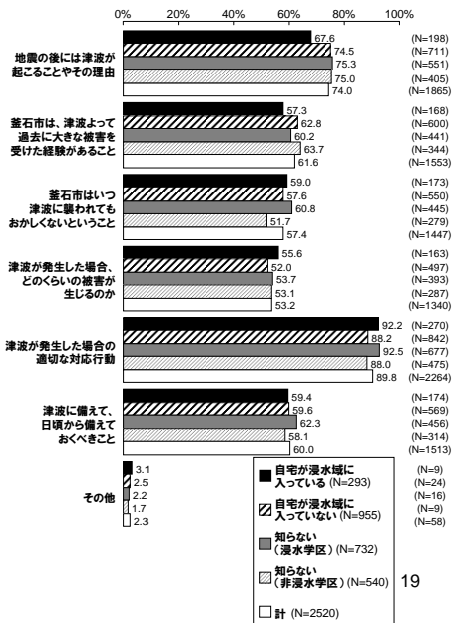
4. 津波防災教育の必要性認識

【II】保護者の調査結果

(2) 学校での津波防災教育を実施する必要があると思うか？



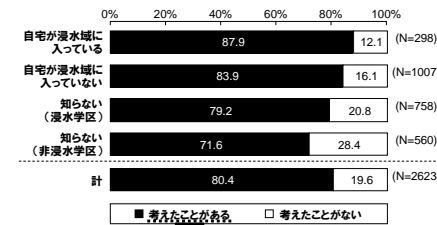
※その具体的な内容



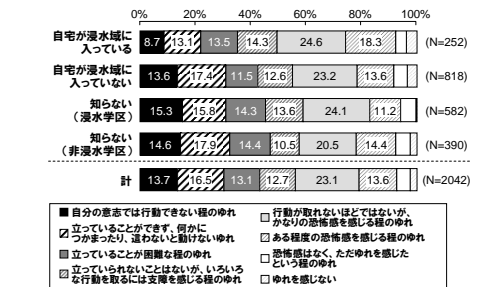
5. 津波に対する危機意識

【II】保護者の調査結果

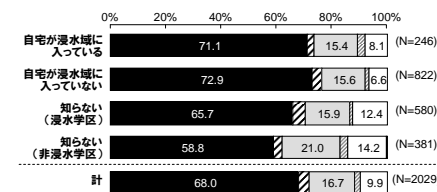
(1) 釜石市で津波が発生する可能性について考えたことがあるか？



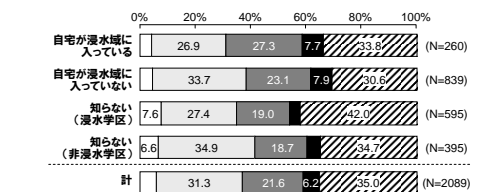
(2) 津波が来る前の前兆のゆれの大きさ



(1) 発生可能性



(3) 津波の大きさ

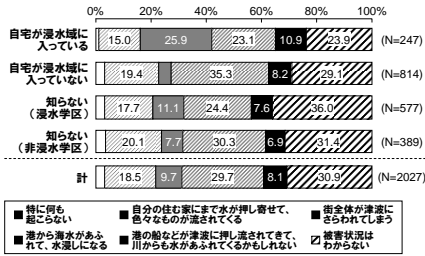


5. 津波に対する危機意識

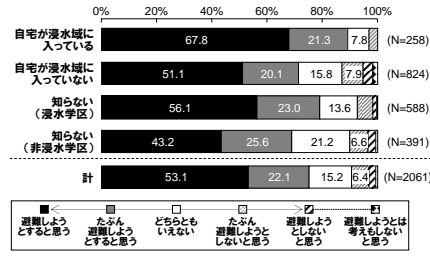
2-08

【II】保護者の調査結果

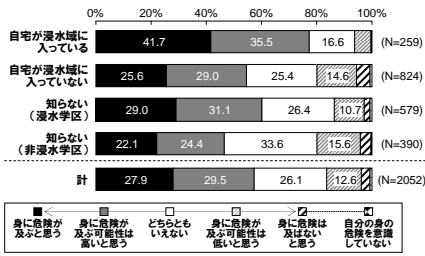
(4) 津波が来た場合の被害状況



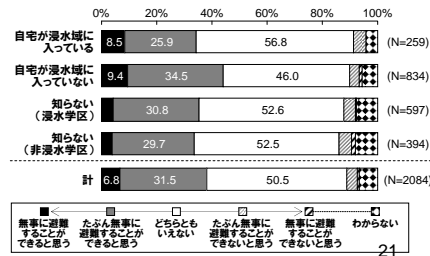
(6) 避難意向



(5) 避難をしていなかった場合の身に危険意識



(7) 無事に避難することができると思うか？

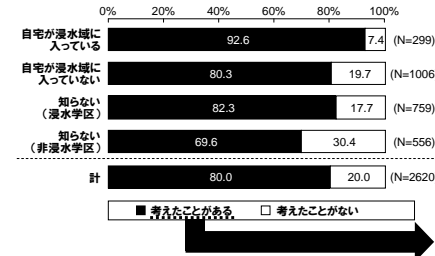


6. 津波避難意向

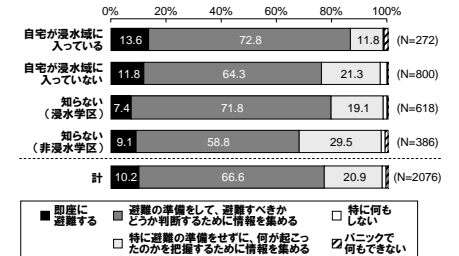
2-09

【II】保護者の調査結果

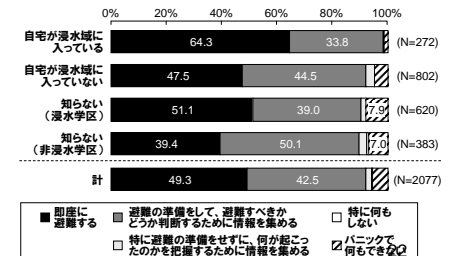
■ 大きな地震が発生した場合、どのような行動をとるべきか考えたことがあるか？



(1) 釜石市で震度4程度の地震が発生した場合



(2) 釜石市で震度7の大規模地震が発生した場合

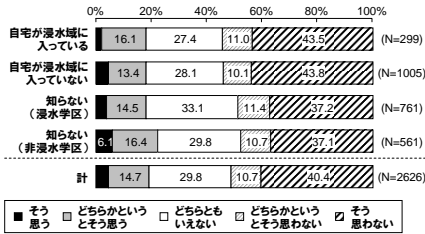


7. 津波に関する知識・意識

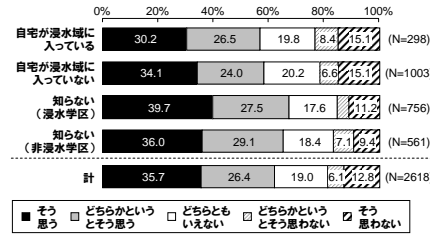
2-10

【II】保護者の調査結果

① 地震のゆれが大きければ津波は来る!



② 津波が来たときには津波警報や避難勧告などの情報が必ず発表される

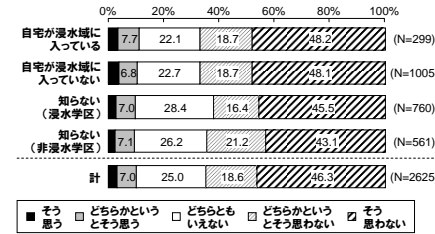


7. 津波に関する知識・意識

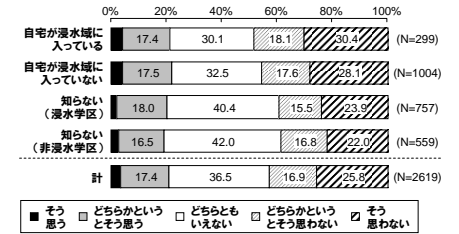
2-11

【II】保護者の調査結果

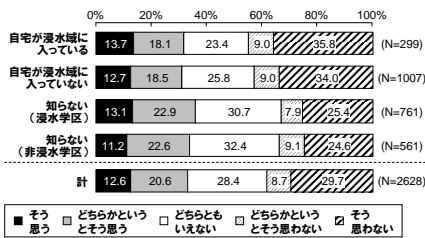
⑤ 実際に海を見て海の異常を確認した後でも、津波から逃げることは可能である



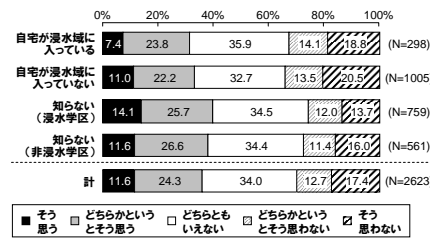
⑦ 釜石市には防波堤が整備されているので、ある程度の津波が来ても安心である



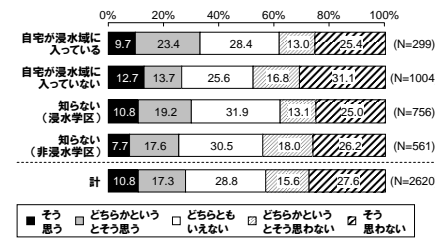
② 海の水が引かなければ津波は来る!



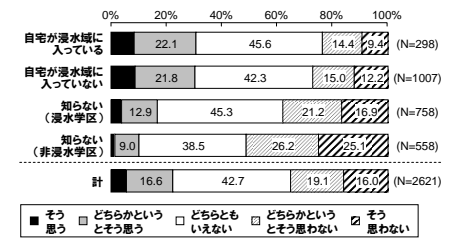
④ 津波警報や避難勧告などの情報を確認した後でも、津波から逃げることは可能である



⑥ 50cm程度の津波だったら、水にさらわれることなく無事に避難することは可能である



⑧ これまでもどれげに津波に対して関心を持っていただき、防災意識は高い方である

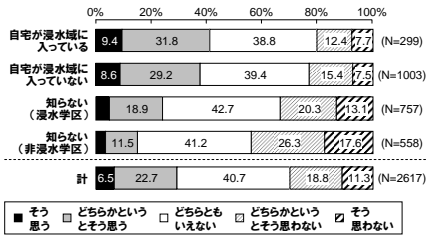


7. 津波に関する知識・意識

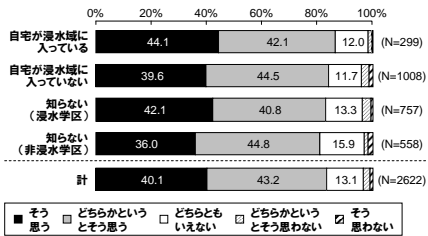
2-12

【Ⅱ】保護者の調査結果

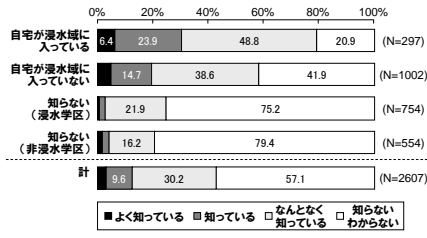
①子供達に津波の発生に備えて何をすべきかを的確に伝えることができる



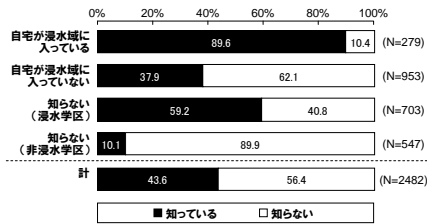
②発生メカニズムや備えておくべきことなど、津波についてもっといろいろ知りたい



①釜石市にどの程度の津波がくると予測されているのかを知っているか？



②自宅から最寄りの津波からの緊急避難場所を知っているか？



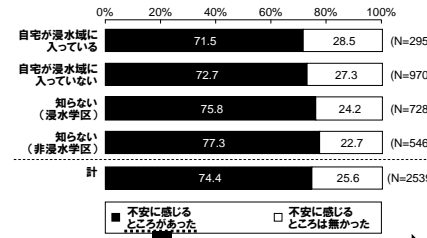
25

8. 子どもの津波知識に対する不安感

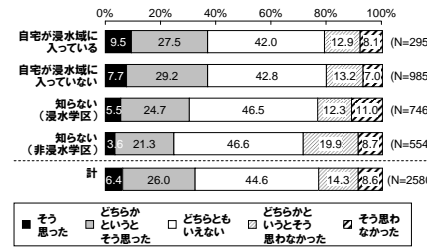
2-13

【Ⅱ】保護者の調査結果

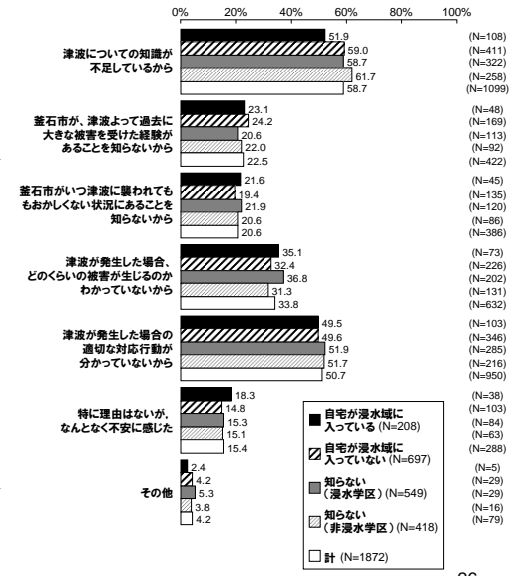
(1) 子どもの津波に関する知識や関心に不安を感じるころはあったか？



(2) 子どもが津波に遭遇した場合、無事に避難することができると思ったか？



※具体的な不安を感じた点

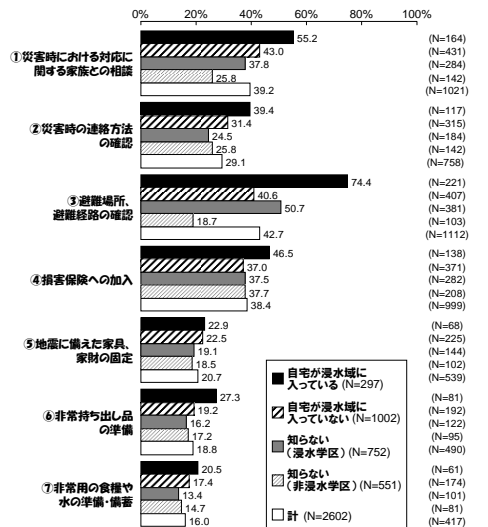


26

9. 津波への備え

【Ⅱ】保護者の調査結果

■ 各備えの行動を行っている世帯の割合

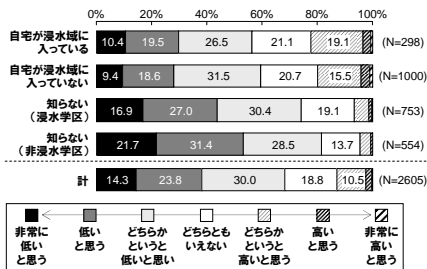


10. 津波防災意識の自己評価

2-14

【Ⅱ】保護者の調査結果

■ 自らの回答結果を振り返って、これまでの津波防災意識を自己評価



【Ⅲ】教師の調査結果

1. 個人属性

2. 津波に関する話を聞いた経験

3. 児童・生徒へ津波防災教育を行った経験

4. 津波防災教育の必要性認識

5. 津波に関する知識・意識

27

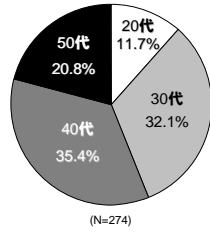
28

1. 個人属性

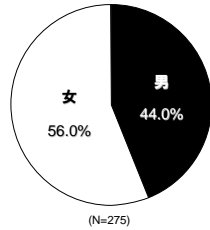
3-01

【Ⅲ】教師の調査結果

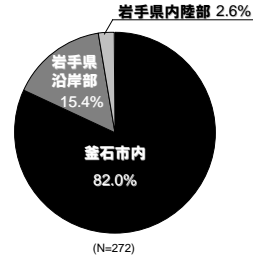
(1) 年齢



(2) 性別



(3) 現在の居住地

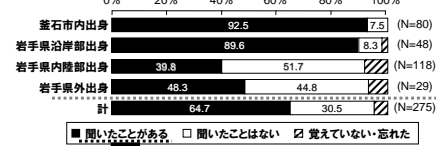


2. 津波に関する話を聞いた経験

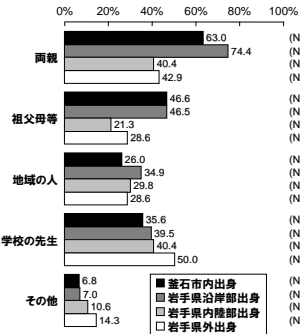
3-02

【Ⅲ】教師の調査結果

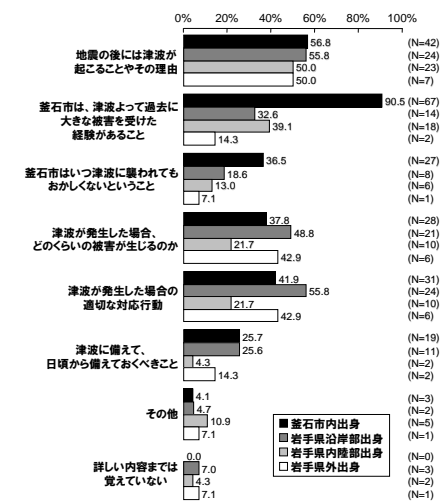
■ 子供の頃、親や地域の人から津波に関する話を聞いたことがあるか？



(1) 誰から津波に関する話を聞いたのか？



(2) 話を聞いた具体的な内容

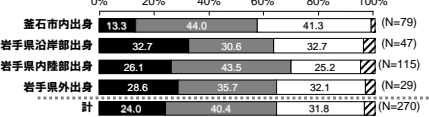


3. 児童・生徒へ津波防災教育を行った経験

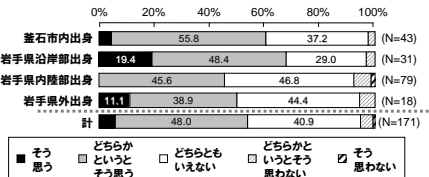
3-03

【Ⅲ】教師の調査結果

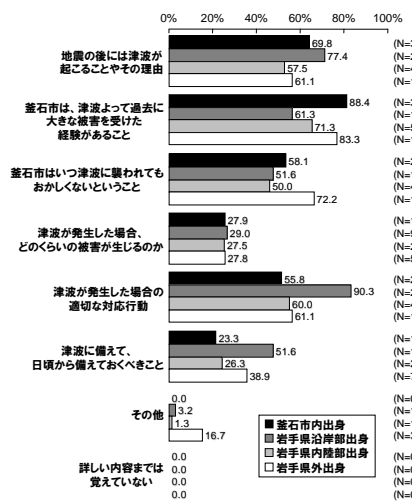
■ 学校の授業等で、津波に関する話を子供達にしたことがあるか？



(2) 子供達にしっかりと伝えることができたと思うか？



(1) 話をした具体的な内容

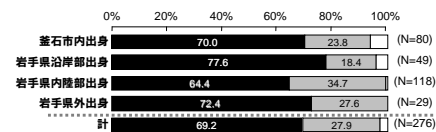


4. 津波防災教育の必要性認識

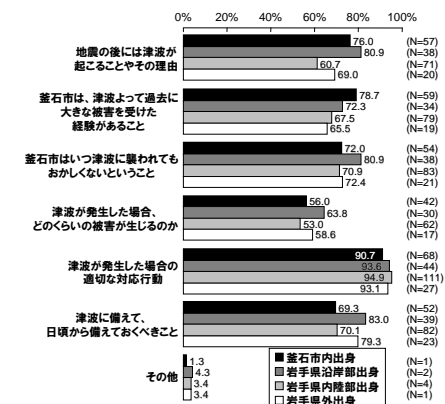
3-04

【Ⅲ】教師の調査結果

■ 学校で津波防災教育を実施する必要があると思うか？



※その具体的な内容

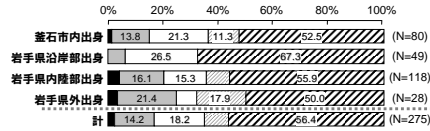


5. 津波に関する知識・意識

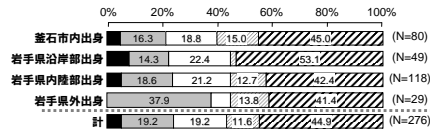
3-05

【Ⅲ】教師の調査結果

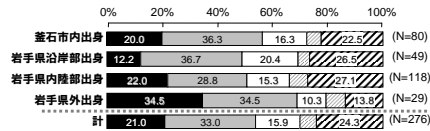
①地震のゆれが大きければ津波は来ない



②海の水が引かなければ津波は来ない

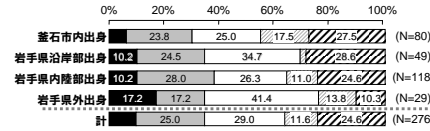


③津波が来る時には津波警報や避難勧告などの情報が必ず発表される

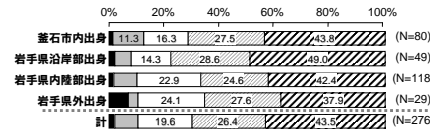


■ そう思う □ どちらかというと思う □ どちらともいえない □ どちらかというと思う □ そう思わない

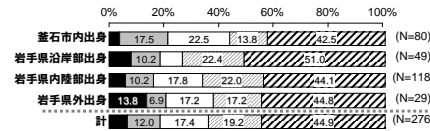
④津波警報や避難勧告などの情報を確認した後も、津波から逃げることは可能である



⑤実際に海を見て潮の異常を確認した後も、津波から逃げることは可能である



⑥50cm程度の津波だったら、水にさらわれることなく無事に避難することは可能である



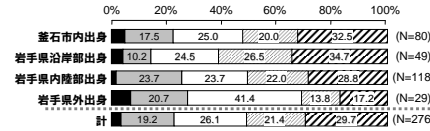
■ そう思う □ どちらかというと思う □ どちらともいえない □ どちらかというと思う □ そう思わない

5. 津波に関する知識・意識

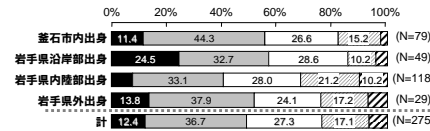
3-06

【Ⅲ】教師の調査結果

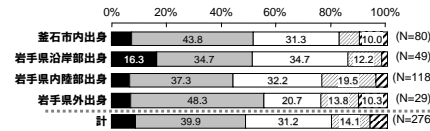
⑦釜石市には防波堤が整備されているので、ある程度の津波が来ても安心である



⑧これまでもそれなりに津波に対して関心を持っていたし、防災意識は高い方である

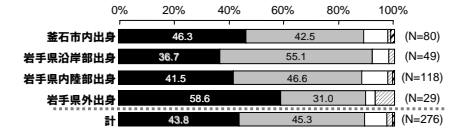


⑨子供連に津波の発生に備えて何をすべきかを的確に伝えることができる



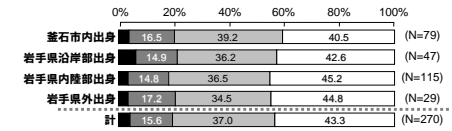
■ そう思う □ どちらかというと思う □ どちらともいえない □ どちらかというと思う □ そう思わない

⑩発生メカニズムや備えておくべきことなど、津波についてもいろいろ知りたい



■ そう思う □ どちらかというと思う □ どちらともいえない □ どちらかというと思う □ そう思わない

⑪釜石市にどの程度の津波が来ると予測されているのかを知っているか？



■ よく知っている □ 知っている □ なんとなく知っている □ 知らない